

探究Ⅰ講演会

1月25日（金）に、「探究Ⅰ」の一環として「能登の地域資源を探る」と題する講演会を行いました。

講師の経塚幸夫氏は、季刊『能登』の編集長です。金沢出身でありながら、縁あって能登に来られて、元新聞記者の経験を活かして記事の70%をお一人で書いているというその能登愛に生徒は驚いていました。「能登は現代社会のゆがみをただすヒントにあふれている」というその信念に生徒の能登に対する意識も変わったようでした。

【生徒の感想】

- ・人のことを考えているから、こういう人の温かさが伝わるいい雑誌ができたのかと思いました。
- ・国や他の誰かに能登を何とかしてくれるだろうと期待するのではなく、「自分自身」が能登をより良くするために意欲的になり、能登の良さを知り、発信することが必要だと思いました。

